

2年目を迎えた「ひまわりガーデン」の報告です。

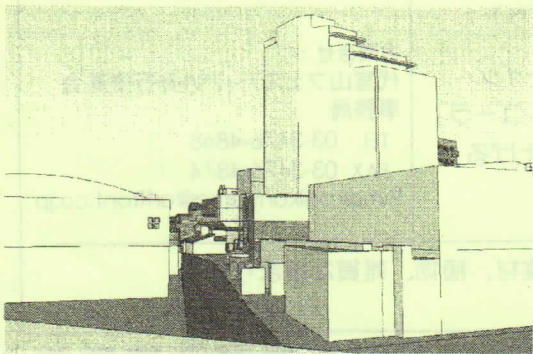
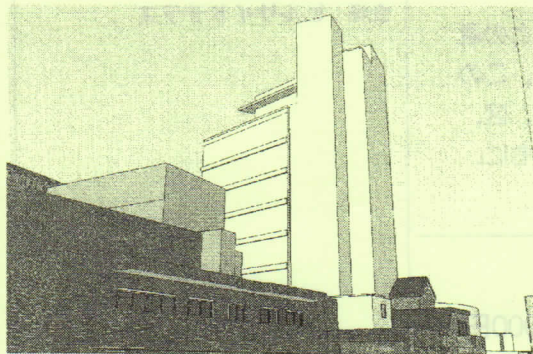
今年は、「第1回 代官春花祭」に参加し、文字通り花を添える事となりました。昨年の経験が役に立つ場面も多く、作業面では順調に進みました。鉢山中学校、猿楽小学校、さくら幼稚園、代官山保育園、恵比寿保育園、有志の皆様の参加協力で大変にぎやかなヒマワリガーデンになりました。ありがとうございました。「うちの孫が植えたひまわりは何処でしょう?」「まだ小さいけど、きっと咲きますように」「去年、植えられなかったので今年は是非植えたかった!」「ネットで観ました」「ひまわりの黄色から元気をもらいました」

夕方、保育園の園児がじょうろを持って楽しそうにひまわりガーデンへ向かう姿は、足取りも軽く輝いていました。「葦らに幸多かれ」と手を合わせたい気持ちでした。

この様な多くの期待に応えるべく、実行委員も努力いたしましたが、ひまわりの開花等について、結果は残念ながら芳しいものではありませんでした。限られた環境の中で行われる植物の育成であること、自然と向き合っている作業であることも十分承知していましたが、花の咲き具合に大きな差が生じました。要因はいくつか考えられますが、今後、研修を重ね納得のいく成果を得られるよう努力することが実行委員の課題であると思っております。

ひまわりガーデン 代官山坂 実行委員会報告

代官山ルール登録及び活動報告



猿楽町10、11、及び18番から28番の地域の皆様にご署名頂きました「代官山ルール」が、8月23日付で渋谷区より認可され、行政が認めるまちづくりルールとして発効となりました。

そのほぼ一週間後にパシフィックマンション跡地の「(仮称)代官山プロジェクト」の建設計画が発表されました。この第一号の案件に関して代官山ルール運用委員会では、直ちに事業者に関し、事前に協議及び検討事項に関する提案、及び近隣説明会の延期を促しましたが、近隣説明会は手配済みとのことで9月20日に行われ、その説明の内容は形式的で多くの問題と、不安・不満を近隣住民に残しました。(従前から予想されていた)、運用委員会では事業者に、

しかし、残念ながら、事業者が近隣説明を行ったことは、計画の骨子が固まり行政手続きを進めている状況であり、代官山ルールの目指す、計画の早期の段階から地域住民・行政・事業者等による計画内容に関する意見交換を行い、協働型のまちづくりの実践により、地域固有の自然的条件とその空間的特質を活かした生活環境の維持・創造と、地域価値の向上に資する理念を、事業者が理解し対応する可能性は極めて低く、これらを成し遂げるためには多くの困難が予想されます。これらを実現させるためには代官山ルール範囲、当該計画近隣の皆様に留まらず代官山スキ会全域の問題として会員のみならず始め、多くの代官山地域の方が関心を持ち、行動頂くことが不可欠です。

客観的に本計画を把握し、代官山にふさわしい形式になるための要望を伝えるため、この計画に関する具体的・詳細な資料の提供を要望、受領した資料の範囲で、運用委員の東氏により周辺建物を含めた関係を把握できる三次元のCGを作成いただきました(本来は事業者が行うべき物)。このCGは、10月12、13両日行った「わがまちルールの登録報告を兼ねた「代官山プロジェクト」計画に関する井戸端会議」で、建物概要説明資料と共に参加者に見て頂きました。多くのみなさまがこのCGにより計画建物と周辺との関係を理解でき、その後の意見交換会は、様々な観点から意見が出されました。これらを受けて、運用委員会では事業者の本計画が代官山にふさわしい計画となるよう見直しと、再検討を強く求めると共に、話し合いを継続し宥和点を見いだす所存です。

代官山地域の皆様、問題に目を向けステキな代官山の環境作りにご協力・ご参加頂くようお願い申し上げます。